

事業評価書

補助事業名	市道許田福地2号線側溝整備工事					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市字許田地内					
補助事業の成果の目標	<p>市道許田福地2号線は、集落にある生活道路であるが、大雨時には道路が冠水し、地域住民の生活に支障を来しているため、区から排水改善の要望があったもの。</p> <p>このことから、本事業を行うことにより、地域住民の生活環境の改善に寄与する。</p>					
補助事業の内容	整備工事 排水工 L=142.71m					
補助事業の始期及び終期	平成30年度から令和元年度					
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度			計
	事業費	円 8,093,520	円 8,423,800	円	円	円 16,517,320
	交付金額	8,089,000	8,423,000			16,512,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、地域の環境改善を図ることができた。本事業完了後、アンケート調査を実施したところ、「道路の冠水がなくなった」、「道路の水はけがよい」との回答が多数あったことから、本事業の成果目標を達成できたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を本市ホームページ及び工事用看板へ記載し、地域住民への周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、生活及び交通に支障を来たす市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	通学バス購入					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市港地内					
補助事業の成果の目標	<p>名護市源河地区在住の真喜屋小学校及び羽地中学校に通学する児童及び生徒については、学校統廃合に伴い通学距離が遠距離となったことから、通学バスによる送迎を行っている。</p> <p>しかしながら、現在所有している通学バスは平成12年の購入から18年が経過し、経年劣化による不具合が度々生じ、登下校の運行に支障をきたす恐れがある。</p> <p>このため、通学バスの更新を行うことで、児童及び生徒の遠距離通学を解消し、教育活動の円滑な運営を維持することを目標とする。</p> <p>(参考指標) 平成30年度故障・不具合回数:7回/年</p>					
補助事業の内容	通学バス車両 1台					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 5,705,420	円	円	円	円 5,705,420
	交付金額	5,705,000				5,705,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 この事業を実施したことにより、当初の車両に比べ、通学バスをより安全に運行できる環境整備ができた。今後、児童及び生徒の遠距離通学を解消し、教育活動の円滑な運営を維持することにつながっていくと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を以下に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名護市ホームページへ記載 ・本車両へ記載 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも子どもたちの安全を第一に考えた通学バス運行のため、整備した車両を適切に管理していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	大宮小学校外構整備工事					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市 宮里地内(大宮小学校)					
補助事業の成果の目標	<p>本小学校の石積擁壁は、正門付近の進入路と校舎側との高低差がある部分に整備され、約50年以上が経過している。老朽化によるひび割れが多くみられ、一部では擁壁のふくらみや抜け石等が発見されたことから、児童生徒の安全確保に支障を来している状況である。</p> <p>このため本事業により外構整備を行い危険を解消することで、児童生徒の安全・安心な教育環境を確保する。</p>					
補助事業の内容	間知ブロック積擁壁工 (L=41.4m)					
補助事業の始期及び終期	令和元年10月16日から令和2年3月11日まで					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
	事業費	円 20,953,900	円	円	円	円 20,953,900
	交付金額	20,953,000				20,953,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業にて外構整備を行い危険を解消することで、児童生徒の安全・安心な教育環境を確保することができた。このことについて、小学校側へのアンケートを実施したところ「危険が解消され、子ども達が安全安心な環境で学校生活を送ることができるようになった」「保護者や地域の方々の心配を取り除く一助にもなった」等の回答が得られており、外構整備事業により、児童生徒の安全・安心な教育環境が確保され、快適に利用できる環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を工事看板及び市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するとともに整備した施設の適切な管理に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	大宮小学校ほか14校物品購入		
補助事業者名	名護市長		
実施場所	名護市字饒平名、真喜屋、田井等、大西、豊原、屋部、安和、大東、東江、幸喜、宮里、大北		
補助事業の成果の目標	<p>○ 真喜屋小学校、名護小学校(カーテン) 上記の学校にあるカーテンは購入から19年以上経過して老朽化が進んでおり、授業に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 屋我地ひるぎ学園、名護中学校(音響機器) 上記の学校にある音響機器は購入から21年以上経過して老朽化が進んでおり(名護中学校は購入年度不明、屋我地ひるぎ学園は平成10年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 大北小学校(体操マット) 上記の学校にある体操マットは購入から15年以上経過して老朽化が進んでおり、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 名護中学校、大宮中学校(サッカーゴール) 上記の学校にあるサッカーゴールは老朽化が進んでおり(名護中学校は平成3年度購入、大宮中学校は平成元年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 羽地小学校ほか7校(机・イス) 上記の学校にある机・イスは古いものは購入から30年以上経過して老朽化が進んでおり(羽地小学校及び名護小学校は平成17年度購入、安和小学校は平成3年度購入、屋部小学校及び大宮小学校は平成6年度購入、東江小学校は平成11年度購入、大北小学校は平成元年度購入、屋部中学校は平成23年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 安和小学校ほか5校(給食台) 上記の学校にある給食台は購入から39年以上経過して老朽化が進んでおり(安和小学校及び久辺中学校は平成12年度購入、東江小学校は平成15年度購入、屋部小学校は昭和55年度購入、瀬喜田小学校及び大宮中学校は平成3年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 屋部中学校、久辺中学校、東江中学校(会議用テーブル) 上記の学校にある会議用テーブルは購入から43年以上経過して老朽化が進んでおり(屋部中学校及び久辺中学校は平成12年度購入、東江中学校は昭和51年度購入)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 屋部中学校、久辺中学校、東江中学校(折りたたみイス) 上記の学校にある折りたたみイスは購入から21年以上経過して老朽化が進んでおり(屋部中学校は平成10年度購入、久辺中学校及び東江中学校は購入年度不明)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>○ 屋我地ひるぎ学園、名護中学校、大宮中学校(丸イス) 屋我地ひるぎ学園家庭科室には丸イスがなく、老朽化した角イスを代用している。名護中学校及び大宮中学校にある丸イスは購入から22年以上経過して老朽化が進んでおり(名護中学校は平成9年度購入、大宮中学校は購入年度不明)、授業等に支障をきたしている状況である。</p> <p>以上の課題改善に向け、本事業によりこれらの物品を購入、設置することで授業及び学校活動等を安定的に行える環境を整備する。</p>		
補助事業の内容	カーテン、音響機器、体育備品、机・イス、給食台、会議用テーブル、折りたたみイス、丸イス		
補助事業の始期及び終期	令和元年度		
事業費及び交付金額		元年度	計
	事業費	26,951,430 円	26,951,430 円
	交付金額	26,951,000 円	26,951,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、授業を安定的に行える環境を整備することができた。このことについて、小学校及び中学校の教師へアンケートを実施したところ、「新しい机・イスが整備されたことにより、机、イスのぐらつきがなく、児童が集中して学習に取り組めるようになった」や「体育館の音響が整備されたことにより、体育館で行う行事や全体集会などがより効果的にできた」等の回答が得られており、安定的に授業を行える環境が整ったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知】 保護者及び地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を市ホームページへ掲載して周知を図った。</p>		
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した備品を適切に管理していく。		
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無		

事 業 評 価 書

補助事業名	高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業					
補助事業者名	名護市長					
実施場所	名護市委託実施医療機関					
補助事業の成果の目標	<p>本市は平成26年度から高齢者に対し、高齢者の死因で高い割合を占める肺炎を防ぎ、高齢者の健康づくりを進める目的で肺炎球菌ワクチン接種事業を行ってきたが、今般特定防衛施設周辺整備調整交付金を充当し自己負担額を全額助成することで、高齢者の感染防止及び流行を抑え、高齢者の健康づくり及び住みよいまちづくりの向上を図る。</p> <p>参考指標 過去3年間の平均接種率 31.9%</p>					
補助事業の内容	高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の助成					
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成30年度から令和元年度まで 基金の処分：令和元年度から令和5年度まで					
事業費及び交付金額			平成30年度	令和元年度		計
	基金造成額	交付金額	円	円	円	円
		市町村費等	0	0		0
		運用益	0	0		0
		計	12,781,000	12,719,000		25,500,000
	基金処分量	0	5,844,623		5,844,623	
	基金残額	12,781,000	19,655,377		19,655,377	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 ・補助事業により個人負担を無料にした令和元年度の高齢者肺炎球菌ワクチンの接種率は前年度の32.1%から40.1%と8%の上昇となった。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ・市ホームページに本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施される旨を掲載し、市民全体に周知を行った。 ・市民のひろば(市広報)等で接種期限等を周知、対象者への通知文や未受診者への勧奨はがきでは無料で実施することも周知し接種勧奨を行った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	・さらなる接種率の維持、向上を図るために、事業の周知についてはこれまでの内容を継続していくとともに、有効な周知方法があれば取り入れていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					